

東京臨海リサイクル発電施設建設事業

1 事業者の名称及び所在地

(1) 事業者

名 称 東京電力株式会社
 代表者 取締役社長 南 直哉
 所在地 東京都千代田区内幸町一丁目1番3号
 名 称 東電環境エンジニアリング株式会社
 代表者 取締役社長 星 利樹
 所在地 東京都港区芝浦四丁目6番14号
 名 称 清水建設株式会社
 代表者 取締役社長 野村 哲也
 所在地 東京都港区芝浦一丁目2番3号
 名 称 株式会社荏原製作所
 代表者 代表取締役社長 依田 正稔
 所在地 東京都大田区羽田旭町11番1号
 名 称 オリックス環境株式会社
 代表者 代表取締役 野口 道明
 所在地 東京都新宿区神楽坂一丁目15番

(2) 事業代表者

名 称 東京電力株式会社
 代表者 取締役社長 南 直哉
 所在地 東京都千代田区内幸町一丁目1番3号

2 事業の名称及び種類

名 称 東京臨海リサイクル発電施設建設事業
 種 類 廃棄物処理施設の設置

3 事業内容の概略

本事業は、東京都江東区青海二丁目地先の中央防波堤内側埋立地内に、産業廃棄物及び感染性医療廃棄物の中間処理施設を建設し、焼却処理及び発電を行うものである。

表1 事業計画の内容

項 目	計 画 の 概 要		
計 画 地	東京都江東区青海二丁目地先（中央防波堤内側埋立地内）		
敷 地 面 積	約 29,000 m ²		
建 築 面 積	約 10,000 m ²		
主 要 用 途	産業廃棄物の焼却処理及び発電		
処 理 量	約 650 t / 日	産 業 廃 棄 物 (流動床ガス化熔融炉)	約 275 t / 日 × 2 基
		感染性医療廃棄物 (専 焼 炉)	約 50 t / 日 × 2 基
発 電 の 規 模	約 23,000kW		

4 環境影響評価の項目の選定

選定した項目は、表2に示すとおり大気汚染、景観、廃棄物及び温室効果ガスの4項目であり、大気汚染に係る環境影響評価小項目は表3のとおりである。

表2 環境影響要因と環境影響評価との関連表

区分	環境影響評価の項目 環境影響要因	大気汚染	悪臭	騒音・振動			水質汚濁	土壌汚染	地盤	地形・地質	水循環	生物・生態系	日影	電波障害	風環境	景観	史跡・文化財	自然との触れ合い活動の場	廃棄物	温室効果ガス
				騒音	振動	低周波音														
工事の施行中	施設の建設																			○
工事の完了後	施設の稼働	○														○			○	○

表3 大気汚染に係る環境影響評価小項目

区分	環境影響評価小項目 環境影響要因	二酸化炭素	一酸化炭素	浮遊粒子状物質	二酸化窒素	ダイオキシン類	塩化水素	水銀
工事の完了後	施設の稼働	○	○	○	○	○	○	○

5 調査等の概要

調査等の概要は、表4に示すとおりである。

表4 調査等の概要

項目	調査事項	主な予測事項	評価の考え方
大 気 汚 染	1 大気質の状況 ・二酸化いおう ・一酸化炭素 ・浮遊粒子状物質 ・二酸化窒素 ・ダイオキシン類 ・塩化水素 ・水銀 2 気象の状況 ・風向及び風速	計画施設の共用に伴う排ガスの大気質への影響 ・二酸化いおう ・一酸化炭素 ・浮遊粒子状物質 ・二酸化窒素 ・ダイオキシン類 ・塩化水素 ・水銀	環境基準等を勘案して評価する。
景 観	1 地域景観の特性 2 代表的な眺望地点及び眺望の状況 3 土地利用の状況 4 景観の保全に関する方針等 他	1 地域景観の特性の変化の程度 2 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度	景観づくり基本方針、及び地域景観づくりの方針、目標等に基づき、地域の特性等を勘案して評価する。
廃 棄 物	1 建設発生土の状況 2 特別管理廃棄物の状況 3 廃棄物の状況 他	1 施設建設に伴って発生する廃棄物等の排出量 2 計画施設から排出される処理残さの排出量	循環型社会関連法における各種法令に定める基準等に基づいて評価する。
温 室 効 果 ガ ス	1 原単位の把握 2 対策の実施状況 他	工事の完了後におけるエネルギーの使用量	エネルギーの使用量を削減するための措置、効果について、法令による基準、東京都が策定する目標、計画等に基づき、その妥当性を明らかにする。